

私は、人口減少や少子高齢化



未来に向け
て
いま、新潟県、阿賀野市では、
人口減少と少子高齢化に適応
した社会の実現に向けて、様々な
施策を進めていますが、効果
的な処方箋になつていないと
いう共通の課題を抱えています。

現状の課題
いま、新潟県、阿賀野市では、
人口減少と少子高齢化に適応
した社会の実現に向けて、様々な
施策を進めていますが、効果
的な処方箋になつていないと
いう共通の課題を抱えています。

現在、人口減少と少子高齢化が日本全国で急速
に進んでいます。今月号と来月号は、若者・高齢
者・障がい者、みんなが未来に生きがいと安ら
ぎを感じる「」とができる**支え合う地域づくり**
をテーマとして取り上げます。地域の活力を維
持し、老若男女、すべての人が心身ともに健康
で支え合う地域づくりについてみんなで考
えてみませんか。

支え合う地域づくりに向けて！

の問題を取り上げると、あま
り不安をかきたてるのではなく
く、この問題をもう少し前向き
に考え、建設的な意見を述べる
ようになります。

私たちの身の回りには、様々
な問題を抱えて困っている人
たちがいます。個人の不安や不
満をこのまま放置すれば、地域
社会が不安定化しかねないか
と危惧しています。

ことで大きな力になると、私は
確信しています。

たとえば、高齢で一人暮らし
の方もいますが、個人の生きが
いや社会とのつながりを増や
すことにもなります。

一方、退職後も働きたいと
か、社会的な活動をしたいと考
えている方もいます。もっと、
高齢者の選択肢を広げる」と
も考えていかなければならな
いと思っています。

私は、これららの問題を考える
ときに、県と阿賀野市の果すべ
き役割を踏まえて、それぞれの
施策が連携、機能するよう、皆
さんと一緒に考え、県会でがん
ばつてまいります。

健康立県

昨日、花角知事が誕生してから、新潟県では「健康立県」を
新たな切り口として、特に、健
康寿命の延伸を目指す取り組
みを進めています。健康寿命が
延びることにより、高齢者でも
元気であれば仕事もできます。
また、張りのある活き活きと
した人生を歩むことができます。
結果として、医療費の削減

にも直結します。65歳以上の高
齢者も、支えられる側から支え
る側になることができ、地域全
体の活性化にも繋がっていき
ます。



下表は、日本全国と新潟県の
平均寿命と健康寿命を示した
ものです。特に、新潟県民の健
康寿命は男女ともに全国で
10番目位の上位に位置してい
ます。

今後とも新潟県は、県民全体

が一丸となつてより一層「健康
立県」に相応しい様々な取り組
みを進め、さらなる健康寿命の
延伸を図つていきます。

具体的取り組み事例につい
ては、3月号で紹介します。

〈健康寿命〉

		平成22年		平成25年		平成28年	
新潟県	男	69.91	全 国 36位	71.47	全 国 17位	72.45	全 国 10位
	女	73.77	全 国 23位	74.79	全 国 13位	75.44	全 国 11位
全 国	男	70.42		71.19		72.14	
	女	73.62		74.21		74.79	

〈平均寿命〉

		平成22年		平成27年	
新潟県	男	79.47	全 国 27位	80.69	全 国 24位
	女	86.96	全 国 5位	87.32	全 国 11位
全 国	男	79.59		80.77	
	女	86.35		87.01	



全市民、友と友、手を取り合い、阿賀野市活性!

阿賀野市では、一般市民はもとより、高齢者や障がいを持つ人に優しい取り組みを積極的に推進しています。

阿賀野市では、一般市民はもとより、高齢者や障がいを持つ人に優しい取り組みを積極的に推進しています。



阿賀野市の取り組み



「健康あがの21計画」

生きがいを持ち、健康で幸せな生活が送れるよう、平成17年度より「健康あがの21計画」を策定し、10年間にわたって健康づくりを推進してきました。

市民一人ひとりがゆとりと生きがいを持ち、健康で幸せな生活が送れるよう、平成17年度より「健康あがの21計画」を策定し、10年間にわたって健康づくりを推進してきました。

市では高齢者の困りごとの調査から、地域のつながりを育むため各地区に拠点となる居場所（ふれあい広場）を設置することになりました。

安田地区では、（株）坂詰製材所所有の施設（旧介護センターあゆみ）を市が借り受け、ボランティアグループ（ふれあいサポートやすだ）が運営することとなり、11月5日にオープンしました。

阿賀野市が元気になる、提案・意見をお寄せ下さい。

市民の声 支え合うのあらわす地域づくりを!

代表 佐藤 幸雄

- ・たばこを吸わないようにします
- ・望ましい食習慣を身につけます
- ・生涯自分の歯で食べられるようになります
- ・自らの健康管理に関心をもつります
- ・からだを動かすことを中心に行います

高齢者が安心して暮らすためには、公的支援だけではなく、隣近所やボランティアの世帯の割合です。

27年度には「第2次健康あがの21計画」を策定しました。現在も、各年度毎に目標を達成するための様々な取り組みを進めています。

実施し、その結果を基に平成27年度には「第2次健康あがの21計画」を策定しました。

具体的な取り組み目標のいくつかを紹介します。

高齢化が進む中、阿賀野市の高齢化率は31%となっています。1人暮らしの高齢者世帯も年々増加しており、約1,600世帯で10世帯に1世帯の割合です。

安田地区に「居場所（ふれあい広場）」開所



市では高齢者の困りごとの調査から、地域のつながりを育むため各地区に拠点となる居場所（ふれあい広場）を設置することになりました。

阿賀野市が元気になる、提案・意見をお寄せ下さい。

次回テーマは引き続き「支え合う地域づくり」です。特定の思想・主義の主張や、他者への非難や批判ではなく、あくまでも建設的な内容に限ります。文字数は400字以内です。

ほかりけんじ事務所
〒959-2221 阿賀野市保田 737-2
TEL:68-5441 FAX:68-5515
<http://www.hokaken.jp/>

阿賀野市
イメージキャラクター
「ごずっちょ」



◎「ほかりけんじ・県政便り」は、毎月1日に新聞折り込みでお届けします。

方々がサポートする仕組みづくりが必要です。

そこで阿賀野市では、地域の高齢者が安心して暮らし続けるためには、支え合いのある地域づくりが必要との観点から、安田地区に昨年11月5日、阿賀野市第1号の「居場所（地域のふれあい広場）」を開所しました。現在、26名のボランティアの方々の協力をいただいています。